



令和 4 年 11 月 11 日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

豊川市がん検診受診率向上プロジェクトによる

御津高等学校がん教育講演会を開催します

学校におけるがん教育～がんを通していのちの大切さを学ぶ～

本市では、がん検診受診率向上プロジェクト(※)の一環として、がん経験者(サバイバー)を県立御津高等学校に講師として招き、下記のとおり「がん教育講演会」を開催します。

「がん」は、身近な病気であり、がんという病気やその予防について正しい知識を身につけ、自分や友達、家族のいのちの大切さを学ぶことは非常に重要です。また、中学校と高校の保健体育の学習指導要領に「がん教育」が明記されており、これまで令和元年度及び3年度に市内中学校で「がん教育講演会」を開催しております。

今回、高等学校で初めて開催しますが、がんに関する事前学習による生徒個々の基礎知識の習得はもとより、がんを通じて家族でいのちの大切さを語り、がん検診の受診率の向上に繋げることも目的のひとつです。

※がん検診受診率向上プロジェクトについて

市民を「がん」から守るため、平成 22 年に官民協働事業として、啓発活動など様々な取り組みを行っている。参加企業は豊川信用金庫・アフラック生命保険(株)・東京海上日動火災保険(株)・第一生命保険(株)

記

- 1 開催日時 : 令和 4 年 11 月 16 日(水)午後 3 時 50 分から午後 4 時 40 分
- 2 会 場 : 愛知県立御津高等学校 多目的室
- 3 講 演 : 「がん教育～がんを通していのちの大切さを学ぼう～」
- 4 講 師 : 山田 佳宏 (やまだ よしひろ)

【山田氏の経歴】

教育委員会勤務を経て桜町小学校長、代田中学校長就任。代田中学校にてがんプロと協働で「子供のためのがん教育」を実施する。令和 4 年退職後、豊川生涯学習センター配属
健診にて胃がんを早期で発見し、治療をした体験者

- 5 参 加 者 : 1 年生(約 91 人)
- 6 そ の 他 : 現地取材される場合は、当日正午までに下記へご連絡下さい

【お問い合わせ先】

豊川市保健センター 健康管理係 手塚・平井
TEL: 0533-95-4802、メールアドレス: hokens@city.toyokawa.lg.jp

子ども向けがん教育 実施校 募集

二人に一人ががんになる時代です。平成28年12月、がん対策基本法が改正され、文部科学省において、令和3年度から実施される中学校の学習指導要領の中に「がんについて取り扱うものとする」と明記されました。

がん教育を行うに当たっては、がんという専門性の高さから、専門家等の外部講師（学校医やがん経験者）の参加・協力を得ることが有効といわれています。そこで「豊川市がん検診受診率向上プロジェクト※」では、本市の学校教育において、がん教育を推進し、令和元年度から「子ども向けがん教育プログラム派遣事業」を実施し、希望校とともに教育を行っています。



東京海上日動

一生涯のパートナー

第一生命



Dai-ichi Life Group



豊川市
Toyokawa City

※豊川市がん検診受診率向上プロジェクト

豊川信用金庫・アフラック生命保険(株)・東京海上日動火災保険(株)・第一生命保険(株)・豊川市が協働して市民をがんから守る取り組みを行っています。

【問い合わせ先】 ≪事務局≫ 豊川市保健センター 健康管理係 ☎ 95 - 4802

がん教育の目標

①がんについて正しく理解することができる

がんが身近な病気であることやがんの予防、早期発見・検診等についても関心を持ち適切に対処できる実践力を育成する。

②健康と命の大切さについて主体的に考えることができる

がんと向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す姿勢を育成する。

過去のがん教育の実施実績・反応

令和元年度 代田中学校 1・2年生 240人 教職員20人 保護者40人
令和3年度 南部中学校 1年生 220人

内容：①がんの授業 「がん経験者の体験談」（講師：岸田 徹氏）
②簡易版「がんを知る展」キット展示

自分や他者を大切に思うこと命の大切さ・命の使い方

体験を通して語られる言葉のひとつひとつから、大切な命をどう使っていくかという前向きな生き方が伝わってきました。（教諭A）

生徒の感想を見ると、中学生のうちからがんについて学習することの重要性を感じました。（教諭B）

命の大切さ・命の使い方

どんな時でもポジティブに、生きていきたいと思いました。（生徒A）

笑顔を忘れず命の時間を大切に生きてみたいです。（保護者A）

周りの人ががんになったら支えようと思いました。（生徒D）

がんを知る

がんは半分以上が治る病気だと知って恐怖が少し減りました。（生徒B）

早期発見の大切さが分かりました。毎年この講演会をお願いします。（保護者B）

がんは予防できると知り、生活習慣を見直そうと思いました。（生徒C）



申し込みから講座終了までの流れ

① 申込書（別記様式）を担当事務局へご提出ください ※申込期限6月末までに提出を！

ご希望多数の場合は、調整させていただくことがあります。
※裏面申込書1枚をFAXしていただければ結構です。

②学校担当者と打ち合わせ（職員が学校へ伺います）

講師の都合等調整し、日程を決定します。
事前学習の方法、記者発表の有無等を確認します。

③講座当日

講師及びプロジェクトメンバーが学校へ訪問します。
講座前後に最終打ち合わせを行います。

④アンケートにご協力ください

今後に活かすため、生徒又は保護等にアンケート配付及び回収する。
集計結果を講師へ送り、謝礼を支払う。

がんプロジェクトで
講師謝礼負担

豊川市子どものためのがん教育派遣事業講師紹介（R4.4月現在）

① 《アフラック「子ども向けがん教育」講師》

岸田 徹 氏



昭和62年生まれ
NPO法人「がんノート設立」
厚生労働省「がんと共生のあり方に関する検討委員」就任

● 20歳代で胎児性がんから全身がんへ転移

★「がん教育」を通して子どもたちに伝えたいこと
がんになったら不幸！？「幸せだから笑うのではなく、
笑うから幸せ」と命の尊さや生き方を考えてほしい

【講師派遣要件】

①アフラック講師
単位：全校集会、学年集会等
（保護者参加型含む）
目安人数：200人以上
その他：実施を記者発表

②豊川市在住講師
単位：クラス単位でも可
目安人数：20人以上

② 《豊川市在住講師》

北村 有里 氏

NPO法人 テッテルーチェ 副理事長 三河支部代表
※TEtteLuce=おっぱい Laluce=光

カフェ「ちな舎」主催 乳がん患者会月1回開催



● 乳がんセルフチェックでしこりを見つけ、30歳代で乳がん発覚

★「がん教育」を通して子どもたちに
伝えたいこと
がんになったことは不運だけど、不幸ではない。とはいえ早期発見は大切。乳がんは自分で見つかります。自分を大切にすることが家族や周りの人の幸せにつながります。

山田 佳宏 氏

教育委員会勤務を経て桜町小学校長、代田中学校長就任。
代田中学校にて、がんプロと協働で「子どものためのがん教育」を実施する。
令和4年退職後、豊川生涯学習センター配属



● がん検診で胃がんを発見

★「がん教育」を通して子どもたちに
伝えたいこと
「自分の命をどう使うか」を考える
きっかけにしてほしい。

豊川市子ども向けがん教育プログラム派遣事業申込書

年 月 日

豊川市がん検診向上プロジェクト

事務局 豊川市保健センター

健康管理係 行き（FAX：89-5960）

（申込者）学校名

住 所

代表者 氏 名

T E L

子ども向けがん教育について、下記のとおり講師の派遣を申し込みます。

記

希望日時	第1希望	年 月 日 () 時 分～ 時 分
	第2希望	年 月 日 () 時 分～ 時 分
場 所		
受講対象	対象	
	人数	人
希望講師		
担 当 者	①同 上 ②名 前： (補職・職名：) T E L： (繋がりやすい時間帯：)	
備 考		

※実施に当たっては担当者と打ち合わせが必要です。

申請後、保健センターからご連絡し、調整します。

※想定している範囲でできるだけ詳しくご記入ください。

※6月末までに申し込みしてください。

